

六九 司政局事務ハ彼此脈絡無ク殊ニ土木課ヲ存置ス
 ルカ如キ難居的存在トモ稱スバク一局ヲ構成スルニ
 適當ナラスト考フルカ如何
 司政局ハ他ノ各局ニ比シ主管事務相互ノ間ニ牽聯性
 少キハ御説ノ通りニアリマスガ之ハ同局ノ性質上已
 ハテ得ホル結果ト存スルノニアリマス
 併シ土木事務ニシマシテモ部局統合ノ趣旨ヨリ之カ
 所屬ヲ稽フルトキハ司政局ニ所屬スルカ最モ連絡上
 適當ト存セラレ又地方行政總力運動事務外事務ノ
 如キハ施設ノ全般ニ通ジテ局長カ判断シナケレバナ
 ラナイ事務ヲトイフ意味モ同一局ニ統合處理スル意
 義カアルト存セラレル次第ヲ御座イマス

七〇 司政局ニ勅任事務官ヲ置ク理由及其ノ担任事務如何

司政局所管ニ屬スル地方行政事務ハ地方廳ノ監督及地方公共團體ノ指導監督ヲ掌リ總督府一般行政ノ中核タル重要部門ニアリマシテ最近官廳ノ經濟統制事務ニ関與スル範圍及程度ノ拡大強化ニ伴ヒ地方廳ニ對スル監察的事務モ亦重要ト為リツツアリ土木行政事務モ亦國防上、産業上重要ナル事務ニアリマエシ外事行政ニ於テハ百數十方ニ上ル在外朝鮮人ノ保護撫育ヲ掌リ在滿、在支ノ朝鮮人ニ對シ教育撥産其ノ他ノ輔導ヲ為シ又毎年一万戸ニ上ル滿洲開拓民移住ノ斡旋指導ヲ行フ外一般渉外事項ヲ分掌シツツアリ國民總力運動ハ時局下朝鮮統治ノ推進力トシテ展開セ

ラレ洋島民衆ヲシテ皇國臣民タルノ自覺ヲ促シ事變下ニ於ケル國策ノ遂行ニ進ンテ協力セシメ國民總力ノ發揮ヲ期セントスル運動ニアリマシテ時局下施政ノ要諦ヲ為スモノ示アリマス司政局ニ於テハ此等重要ナル行政事務ヲ分掌シテ居リ何レモ施政ノ各方面ニ亘リ極メテ複雑多岐ナルミナラズ司政局長ハ中樞院ニ関スル事項、總督府部内人事ニ関スル事項其ノ他ノ高等政策等施政ノ重要事項ニ関與スルコトカ多ク殊ニ地方廳ニ對スル監察事務、國民總力運動ノ指導ニ付テハ局長自ら第一線ニ立ツテシナケレバ實効ノ擧ラナイ任事ニアリマス他面外事行政事務ハ新京、北京、張家口、上海等ノ在外總督府出張所ノ事務ヲ統轄シ機宜ノ措置ヲ採ラネバナラズ滿洲拓植委員

華民國政府、蒙疆政府、閩東軍、支那駐屯軍、鮮内
 領事館其、他トノ折衝多ク朝鮮總督府ヲ代表シテ交
 渉シテレバナラズ（局長ノ數ニ於テ又殖産局ト並ニ不
 各局ノ首担ニ在リ）司政局長一人ニハ此等内外重要行
 政事務ヲ處理スルニハ到底其ノ負擔ニ堪ヘズ殊ニ其
 ノ職責ニ鑑ミ地方廳監察、總力運動、對外交渉等ノ
 為長期ノ内外出張ヲ求ムルコトカ困難ニアリマス、亦局
 附勤任事務官ヲ配置シテ局内重要行政事務全般ニ付
 局長ノ輔佐ヲ為サシメルト共ニ特ニ重要ナルモノ以外
 ノ外事事務ニ付之ヲ專行シ又ハ對外折衝ニ當ラシメル
 コトト致シタノ事アリマス

七一「司政」ナル名称ヲ附シタル理由如何又其ノ前例アリヤ

司政局ニ於テハ産業、經濟、交通、司法及教育事務ハ之ヲ別ト致シマシテ其ノ他ノ所謂一般行政事務中警察及厚生行政ヲ除イタモノヲ主管スルコトト致シマシタノヲ總督府内外施政中特殊ノ部門ヲ除キ一般共通ノ部門ヲ處理スルモノニアリマシテ「一般行政」ヲヨルルニ意味ニ於テ司政局ナル名称ヲ附シタ次第アリマス尚司政ナル名称ハ関東局ノ司政部ニ用ヒラレタ前例ガアリマス

第六
其ノ
他

M-0028



七二 事變下朝鮮ノ統治政策ニ於テ重點ヲ置ク點如何

一 日本精神ニヨル思想ノ統一醇化

内鮮一体眞ニ忠良有爲ナル皇國臣民タラントスル赤誠ニ徹セシメ如何ナル突發的事態ニ逢着スルモ大陸前進基地タルノ使命ヲ完遂セシムルニ足ル磐石ノ態勢ヲ堅確ナラシメ置クガ爲民族主義者インテリ層ノ監視査察ハ勿論學生一般大衆層ニ至ルマテ常ニ迫力アル訓練ヲ加ヘ領導宜シキヲ制シ思想ノ醇化統一ヲ期シ治安上些カノ懸念ナキヲ期スルコトハ刻下統治ノ先決要件ト稱スベキ重點デアリマス

二 生産力ノ徹底的擴充

食糧國策ニ即應シテ半島ノ有スル地力ノ最大ノ發揮、豊富多採ナル地下資源ノ飛躍的開發、大陸交通運輸ノ幹線動脈タル使命發揮ノ爲鐵道

、道路、航空、海運、港灣、電氣等ノ大擴充、更ニ前進基地ノ意義ニ悖ラザル各種重輕工業ノ勃興等何レモ資金、資材ノ運用ニ周到深甚ナル考覆檢討ヲ遂ゲ時局ノ要請ニ應ジツツアルコトノ部門別詳説ハ避ケマズガ要ハ生産力ノ徹底的大擴充コソ時局下統治ノ第二ノ重點デアリマス

三 人的資源ノ練成ト供出

新附同胞トハ云ヘ統治三十年ノ實績ハ概ネ順調ナル過程ヲ經テ世界的ニ異例トスルニ足ル人口増加率ニ顯ハレ併合當時ノ約倍數二千四百萬ノ半島同胞ハ一億一心ノ有力ナル構成分子トシテ今ヤ内地勞働力補給源トナリ滿洲開拓民トナリ將又時局ニ伴フ軍需要員又ハ勞力トシテ驚クベキ員數ノ供出ニ應ジテ尙餘裕綽々タルモノアリ志願兵ノ如キハ全ク數ニ於テ問題トスルニ足リマセンガ之又半島青年ノ志向ヲ知ルニ足

ルノデアリマス
 而シテ勞務新體制ニ應ズル資質ノ練成ニ當リ施策宜シキヲ得マシタ
 ラバ百萬ヲ單位トスル勞務ノ供出ハ困難デハナカラウト存ジマスガ前
 段ノ物的實力ト竝ンデ人的資源ノ練成供出ハ第三ノ重點デアリマス



七三 時局下帝國ノ國防、食糧、生産力拡充等ニ朝鮮ノ寄與スル點如何

朝鮮ノ地理的ニ見マシテ又經濟的ニ見マシテ帝國ノ大陸ニ前進スル為ノ兵站基地トモ申スベキモノアリマシテ今次事變勃發以來相當ノ使命ヲ果シテ其ノ不アリマス先必狹義ノ國防即ケ軍事上リテ申シマスト事變勃發ト同時ニ兵力ノ輸送、宿營ニ當リ又食糧、馬糧其ノ他、軍需品ヲ供出シ軍馬、自動車等ノ徵發ニ應ジタモノ又相當ノ數ニ上ツテ居リマス銃後ノ後援ニ付テ又愛國ノ赤誠ヲ示シ國防獻金、恤兵慰問其ノ他ノ軍事後援ニ幾多ノ美談モアリ通訳生等トシテ從軍セル者、陸軍志願兵トシテ出征セル者アリ此等ノ中ニハ壯烈ナ戦死ヲ遂ケタ者モアル、天御座イマス

食糧ニ付テハ朝鮮ハ帝國ノ食糧自給ニ寄與スル所大ニアリマシテ本米穀年度ニ於テハ七八百萬石ノ朝鮮米ノ内地移入ヲ期待セラレ内地ノ作柄ハ本年ハはスシモ芳シクハナカクタノ不アリマス加之依リ食糧ニ付テハ先必不安ヲ解消シ得ルト考ヘラレトスアリマス
生産力拡充ノ方面ニ付テハ朝鮮ニハ地下資源ノ埋藏サレテ其ノ多ク金ハ全國生産ノ五割、鐵、鉛石ハ全國生産ノ五割七分、人造重油ハ三割九分ニ達シ而シテ内地ニ其ノ産出ヲ見ナシ珍シイ鉱物が多クタンクスステシ鉱ハ全國生産ノ九割、モリス石ハ全國生産ノ八割三分、石綿ハ全國生産ノ八割、螢石ハ全國生産ノ九割八分、鉛、錫、煤、石油、土狀黑鉛ニ至ツテハ帝國ノ全生産ヲ朝鮮ニ俟テ生産力拡充ニ寄與スル所極大ナルアリマス更ニ朝鮮

ニ於テハ電力資源ニ富ミ現在發電ノモノ八十万キロワット
 工事中ノモノヲ合セ約百七十万キロワットニ達シ北朝鮮及西
 鮮地方ニ大規模ノ貯水池ヲ設ケ此ノ水力發電ニ依リタシ
 テ豊富且低廉ノ電力ヲ得ラレマスノテ之ニ依リ之ト勞務
 具ノ他好立地條件ヲ具シ各種化學工業輕金屬工業、製
 鐵工業等ヲ發達致シ生産力擴充ニ大キナ役割ヲ演ジテ
 中ルノテアリマス
 更ニ人的資源ニ於テモ豊富アリマシテ事變下ノ限りナ
 キ勞務者需要ニ應ジテ参リ内地等ニモ本年ハ十万人ノ
 勞働者ヲ供給シ生産力擴充計畫ニ支障ヲ來サナイ様ニ致
 シテ居ルハ示アリマス

七四 朝鮮ニ於ケル生産拡充計畫ノ概況如何

朝鮮ハ地下資源豊富ナル為生産拡充計畫ニ於キマシ
テ又鐵鋼、石炭、非鐵金屬及金、人造石油並ニ豊富
ナル水カヲ利用シテノ電力ニ付特ニ重要ヲ置キマシ
テ其ノ生産ニ努クシ相當ノ實績ヲ擧ゲツツアリマス
今茲ニ本年産ノ生産拡充計畫ノ概略ヲ述ベマスレバ
先ニ鐵鋼部門ニ於キマシテハ鐵鉱石ハ本年度ノ生産
豫定額ハ我國全生産豫定額ノ約五七%、タンクス^トニ
ハ九〇%、モリス^トニハ三〇%ヲ占メ、石炭ハ~~約~~約
アリマス次ニ非鐵金屬部門ニ於キマシテハ金ハ五五%
鉛ハ三^五%、亜鉛ハ一一%、石綿ハ八〇%、螢石ハ
九八%、シリマシテ雲母、鱗狀黒鉛、土狀黒鉛ハ何
レモ一〇〇%ノ生産豫定額ヲ御座イマス

次ニ人造重油ハ三九%、硫酸^アニ^エニアハ二八%、
羊毛ハ一八%、電力(水カ)ハ五九%ノ生産ヲ豫定シ
テ居リマス尚本年度ノ生産拡充計畫ノ實施狀況ハ現
在迄ノ處大体^調調ナル實績ヲ擧ゲツツアリト思料セ
ラルル次第ヲ御座イマス

七五

事變下朝鮮人の動向如何

七六

朝鮮ニ於ケル治安狀況如何

(一) 併合以來一視同仁ノ聖旨ヲ奉戴致シマシテ施政ノ伸張ニ努力シテ參リマシタノ小軌迹ニ於ケル帝國ノ國際的進出ト實力發揚ノ結果トニ依リマシテ疆内民心ハ次第ニ是マリマシテ殊ニ今^次事變ヲ契機トシテ劃期的好轉ヲ示シ其ノ大勢ハ内鮮一^體下ニ愛國朝鮮ノ眞姿ヲ顯現シツツアリマス即チ之ヲ詳述致シマス

(イ) 今次事變勃發ノ當初ニ於テハ事変ノ擴大ニ伴ヒ一時民心ニ異常ノ衝動ヲ與ヘ各種流言蜚語ヲ生ジ民心動搖ノ兆カアリマシタガ當局ノ指導啓蒙ニ依リ時局認識徹底シ民心ハ漸次安定スルニ至リマシ

(ロ)

而シテ一般民衆ハ銃後ニ在リテ出征將兵ノ歡送ニ國防獻金(約壹千萬圓)、皇軍慰問ニ或ハ軍事上ノ各種徵發ニ對スル奉仕的態度其ノ他勤勞奉仕活動或ハ神社參拜等皇國臣民トシテノ赤誠ヲ披瀝スルノ風膨湃トシテ起リマシタ

(ハ)

尚志願兵應募者ノ如キ天每年増加シ本年度ハ三千人ノ定員ニ對シ十四萬四千人ノ多數ニ達シ本制度ハ極メテ優良ナル成績ヲ收メツツアリマス

(ニ)

又昨年二月十一日ヨリ施行ヲ見タル創氏制度ハ之ガ趣旨ノ徹底ニ伴ヒ全人口ノ約八割七分ガ既ニ創氏ヲ致シマシタ

(ホ)

次ニ昨秋發足シタル國民總力運動ハ爾來一般民



衆ノ自覺ト熱意ニ依リ其ノ最下部實踐活動體タル
全鮮三十八萬ノ愛國班ハ漸次活潑ナル活動ヲ展開
シ思想ノ統一、國民總訓練及生産力擴充ノ三大實
踐大綱ヲ目的トシテ着々其ノ實績ヲ擧揚シツツア
リマス

(1) 殊ニ一昨年京畿以南七ヶ道ニ亘ル半島未曾有ノ
大旱害ハ一般大衆ニ對シ深刻ナル影響ヲ與ヘタル
ニモ拘ラズ旱害地民衆ハ極メテ平靜ニ經過シ事變
下國民ノ意氣ヲ遺憾ナク表現致シタ様ノ次第デア
リマス

(2) 大勢ハ以上ノ如クデアリマスガ併シ事變ノ長期化
ト戰時經濟統制ノ強化ニ伴ヒ漸次一部民心ニ弛緩嫌
忌ノ氣運ヲ生シ例ヘハ事變以來漸減シツツアリタル

流言蜚語、不穩言動、不穩落書、不穩投書等昨年春
頃ヨリ漸次増加且惡質化ノ傾向ニアル等警戒ヲ要ス
ル情勢ニモアルノデアリマス又主義者等ノ狀況ヲ見
マスルニ今次事變勃發以來鮮内ニ於ケル民族、左翼
等ノ思想運動ハ一般民心ノ好轉動向ト相俟ツテ凋落
ノ一途ヲ辿リ各種主義者等ニ於テモ只管靜觀的態度
ヲ持シ積極的活動ハ殆ト無クツタノデアリマス然レ秋
以來内外客觀情勢ノ急變ニ伴ヒ好機到來ト妄斷シ民
心ノ間隙ニ乘ジテ不穩策動ヲ敢行シ銃後ニ於ケル思
想攪亂ニ依リ帝國ヲ敗戦ニ導キ朝鮮ノ獨立共產化ヲ
圖ルベク黨ヲ再建其ノ他外廓運動ヲ行ハレテ居ルノ
デアリマス民心ノ動向以上ノ如クデアリマスカラ當
局ト致シマシテハ指導管發一面嚴重警戒ヲ致シテ居

ル次第デアリマス

(3) 尚本年六月二十一日獨蘇開戦は其ノ後ニ於ケル内
 外諸情勢ノ緊迫化ニ依リ一般大衆ニ及ボシタル影響
 ヲ見マスルニ甚大ナル衝動ヲ與ヘマシテ一部民衆中
 ニハ米國ノ参戦ニ依リ世界大戰ハ擴大ヲ豫想シ前途
 ニ對スル不安ノ念ヲ抱キツツアリマス然シ一般大
 衆ハ當局ノ指導ニ依リマシテ只管當局ニ倚賴シ静觀
 的態度ヲ持ルルノミナラズ寧ロ超非常時局ヲ豫想シ
 積極的ニ臨戦體制ニ即應スル時局活動ヲ馴致セムト
 スル傾向ニ在ルデアリマス即チ

(4) 興亞報國團、臨戦對策協議會結成等ニ依ル愛國
 的時局運動ノ展開ヲ見殊ニ大正八年騒擾ノ幹部等
 が挺身ニ從事シツツアルコト

(4) 又防空演習其ノ他ノ時局的諸行事ニ對スル積極
 的參加活動ヲ爲シツツアルコト

(5) 又物資ノ獻納、廢品回收又ハ國債消化運動ヲ積
 極的ニ爲シツツアルコト

等ニ其ノ事象が現レテ居ル狀況ヲゴザイマス

朝鮮ニ於ケル志願兵ノ狀況如何

陸軍特別志願兵制度ハ昭和十三年實施セラレタノテ
アリマシテ訓練所生徒ハ一部ハ現役歩兵ニ一部ハ高
射砲隊、輜重隊等ニ三箇月乃至六ヶ月間補充兵トシ
テ召集セラレテ居リマス訓練期間ハ四箇月ニナツテ居
リマス尤モ従前ハ六ヶ月テアリマシテ昭和十五年八月四
ヶ月ニ之ヲ改メマシタカ本年十二月ヨリハ又六ヶ月
ニ延長ノ豫定アリマス志願者總數ハ左表ノ通テア
リマシテ昭和十六年度ハ總志願者數十四万四千人採
用者三千三百人ハ三千人ノ豫定ノ處一割減耗ヲ見込ムテ
アリマシテ其ノ割合ハ四十三倍ニ達シテ居リマス又
血書ヲ携ヘテ出頭熱願スル者モ御座イマシテ半島人カ
如何ニ善ク一現同人ノ聖恩ニ出テタル本制度ヲ認識シ

テ居ルカラ如實ニ物語ツテ居リマス
入營部隊ノ特別志願兵ニ対スル概評ヲ綜合致シマス
ルト其ノ成績ハ極メテ良好アリマシテ規律態度
並ニ基礎的諸動作等ハ内地人壯下ニ比シマシテ較テ遜
色ナク内地人一般兵ト比シ極メテ良好緊密ニ融和ヲ
保チマシテ昭和十三年前期修了者ハ現役歩兵トシ
テ入營シタルモノノ中上等兵候補者及下士官候補者
ハ全員ノ約六割ニ達スルトイフ狀況ニ御座イマス今次
事変ニ際シマシテモ既ニ第一線ニ出動致シマシテ皇
國ニ強シ護國ノ英靈ト致シマシテ散華シマシタ者モ
アリ又各營ノ戦傷ヲ負ヘル者ヲモ出シテ居リマス尚
本制度ニ対シマシテハ唯ニ朝鮮内ニ居住スル者バカ
リナク近年内地在住者ノ志願熱意極メテ旺盛ナル

年度別	昭和十三年度	昭和十四年度	昭和十五年度	昭和十六年度
總志願者	二、九七六	一、五四八	八四、三九七	一、四四、七四〇
適格者	一、七二二	七、〇一六	三六、六一五	四四、八八四
採用者	四〇六	六二六	三、四六六	三、三〇〇

及ノアルニ鑑ミマシテ昭和十七年度ニ於キマシテハ
 大阪市ニ詮衡地ヲ設ケ之ニ應ラフト 致シマシタ又
 除隊後ノ就職斡旋等ニ付キマシテハ當局ニ於テモ充分
 之ヲ斡旋シ又國民總力聯盟ノ推進隊トスル等地方ニ
 於キマシテ中堅人物トシテ軍隊生活ニ依リ得マシタ
 体験ヲ充分ニ發揮セシムル様深甚ノ考慮ヲ拂ツテ居
 リマス



七八

朝鮮人ニ對スル參政權及兵役ニ對スル方針如何

(一) 參政權
朝鮮人ハ由來政治ニ關心強ク參政權ハ其ノ最モ要望スル所デアリマスが大正九年及昭和五年ノ兩度ニ巨リ地方自治制度ヲ漸次擴張シ現在道村邑面ノ各地方團體ノ内面ヲ除ク外何レモ議決機關ヲ有シ議員ノ選舉制(道會ニ於テハ三分ノ一ハ官選)ヲ採用シテ居リマスが國ノ施政ニ付テハ未ダ民衆ノ參與シ得ルノ途ハアリマセン 參政權ニ關スル問題ハ其ノ措置如何ニ依リマシテハ朝鮮統治ニ至大ノ影響ヲ及ボスモデアリマスカラ之ヲ認ムルヤ否、認ムルモ其ノ方法、程度、時期等ニ付慎重考慮ヲ要スルノデアリマシテ内鮮一體ノ強化徹底ニ伴ヒ漸次其ノ氣運ガ醸成セラレツツアルトハ謂ヒ

乍ラ問題ハ半島民衆ノ皇國臣民化如何ニ繫ツテ居ルモト謂フベキデ時勢ノ推移ニ依リ決セラルベキ問題デアリマシテ今後ノ慎重ナル研究ニ俟タントスル次第デアリマス

(二) 兵役

朝鮮人ニ兵役ノ義務ヲ負ハシメ名實異ニ日本臣民タルノ待遇ヲ與ヘラレ度シトノ希望ハ事變前ヨリ常ニ朝鮮人先覺者ノ間ニ唱道セラレ議會ニ屢々請願シテ居リマスが兵役ノ義務ハ古以來我カ臣民ハ事アルニ當テ其ノ身家ノ私ヲ犠牲ニシ本國ヲ防護スルヲ以テ丈夫ノ事トシ忠義ノ精神ハ榮譽ノ感情ト俱ニ人々祖先傳來ノ遺傳ニ根因シ心肝ニ浸漸シテ以テ一般ノ風氣ヲ結成シ日本臣民ガ國ノ生存獨立及光榮ヲ護ル者ナ



ルニ鑑ミ國民皆兵ノ制ヲ採リマシタノニ基クモノデア
 リマスガ新附ノ同胞ニ對シマシテハ未ダ此ノ義務ノ
 遂行ヲ強制スベキ機ニ達セズ半島民衆ガ名實并ニ皇國
 臣民タルニ至リマシタ場合ニ於テ考慮セラルベキテ最
 ニ實施シマシタ志願兵ノ制度ニ徴兵制度施行ノ前提テ
 ハナク志願兵制度實施ノ成績如何ハ徴兵制度施行ノ可
 否ヲ判断スベキ一資料トシテノ意味ヲ持ツテハ居マス
 が將來諸般ノ情況ニ依リ別ニ考慮セラルベキモノト認
 メラレルムデアリマス



七九 創氏制度實施ノ狀況及其ノ統治上ニ及ボセル效果如何ニテハ、朝鮮人ニ對スル氏制度ハ昨昭和十五年二月十一日ヨリ實施セラレシメテ、ノデアリマスガ氏ノ制度ヲ布クニ至リマシタ理由ヲ申上ゲマスレバ、朝鮮人ノ親族相續ニ關シテハ原則トシテ朝鮮在來ノ慣習ニ依ル規定デアリマスガ其ノ慣習ニ依リマスト朝鮮ニ於テハ人ハ皆姓ト名ヲ稱スルノデアリマスガ姓ハ男系ノ血族タルコトヲ示シ戸籍上ノ異動アルモ之ニ伴ヒ變改スベキモノデアリマセンカラ自然一家ノ中ニ數姓ヲ觀ルヲ常態トシテ居リマス即チ姓ハ家ノ稱號デハアリマセン家族制度ノ行ハレテキル朝鮮ニ於テ社會構成ノ單位タル家ニ付之ヲ表示スベキ何等ノ稱號ノ無イコトハ世態複雑ニシテ人事錯綜セル現代ノ時勢ニ適セナイ譯デアリマス。

殊ニ一般ノ要望ニ應ジ異姓養子ノ制度ヲ設クルニ當リマシテハ家名ヲ襲用セシムルニ非ラズ被相續人ト相續人ト姓ヲ異ニシ相續ノ觀念ニ添ハザルガ如キ結果トナリマスル様ニ關係モアリ茲ニ氏制度ヲ創設致シタ次第デアリマス氏ノ設定ニ當リマシテハ別途法令又ハ運用上ニ於テ若干ノ制限ヲ設クルモノハ別トシ其ノ他ニハ制限ヲ設ケマセンカラ勿論内地人流ノ氏ヲ定ムルコトガ出來ル譯デアリマス此ノ内地人流ノ氏ヲ稱ヘタキ熱望ハ朝鮮人ノ間ニ熾烈ナルモノアルノミナラズ内鮮一體態勢ヲ強化スル上ヨリシマシテモ望マシイコトト存ジタ次第デアリマス。

而シテ本制度實施期タル昨年二月十一日ヨリ六月内即チ八月十日迄ハ戶主ニ於テ府尹、又ハ邑面長ニ氏ヲ届出ツルニ由リテ效力ヲ生ジ

右期間内ニ届出ヲ爲サザル者ハ本令施行ノ時ニ於ケル戸主ノ姓ヲ以テ氏ト看做スコトニ規定サレテ居ル次第デアリマス而シテ其ノ實施ノ結果ヲ見マスルニ半島同胞多年ノ希求ニ合致セルモツトシテ歡喜ノ聲ヲ以テ迎ヘラレ皇國臣民意識ニ目覺メタル民衆ハ上下ノ官民ノ別ナク競ツテ創氏ノ届出ヲ爲シ同年八月十日迄ノ氏届出期間内ニ手續済ノモノハ三、二二〇、九六九戸テ全戸數ノ八割強ニ當リ又右期間經過後裁判所ニ氏變更許可申請ヲ爲シ内地人式氏ト爲リタル者ハ本年八月末現在ニ於テ三九、八六一戸アリタ右兩者ヲ合算シタル合計ハ三、二六〇、八三〇戸ニ達スルデアリマス方尙此ノ外林、柳、南、池、桂、南宮等ノ如ク從來ノ姓ガ其ノ裔内地人式ニ請ミ得ル爲強ヒテ氏ノ届出ヲ爲サザリシモノガ二四九、八

〇三戸存在シマスカラ之ヲモ合スレバ内地人式トナリタル戸數ハ三、五一〇、六三三戸トナリマス之ノ朝鮮人總戸數ハ四、〇〇八、九二五戸ニ對スル割合ハ八割七分五厘強ニ達スルデアリマス尙創氏ニ伴ヒ内地人式ニ名ヲ變更シタル人口數ハ氏設定期間内ニ於テ一、一九六、五〇四人、同期間經過後本年八月末迄ニ一、〇六三、四九九人合計二、二六〇、〇〇三人ニ達シ總人口數(二四、〇五三、五五〇人)ニ對スル割合ハ〇、〇九四トナリマス氏制度ハ元來内鮮一體ノ理念ヲ基幹トシ其ノ具現化ヲ目的トシテ實施セラレタモノデアリマスガ半島同胞ハ克ク此ノ制度ノ眞精神ヲ理解シ前記ノ如キ成果ヲ收ムルニ至リ之方爲内鮮一體態勢ノ推進ニ更ニ拍車ヲ加ヘタコトト存ズル次第テ御座イマス

朝鮮總督府官制中改正案

朝鮮總督府調査官ノ特別任用ニ關スル件

大正二年勅令第二百六十二號中改正案

勅令第 號

朝鮮總督府官制中左ノ通改正ス

第九條中「七局」ヲ「八局」ニ、「内務局」ヲ「司政局」ニ、「外事

部」ヲ「厚生局 企畫部」ニ改ム

第十條中「外事部」ヲ「企畫部」ニ改ム

第十一條中「局長 七人 勅任」ヲ「局長 八人 勅任」ニ、
「外事部長 一人 勅任」ヲ「企畫部長 一人 勅任」ニ、

「事務官 專任五十一人 奏任 爲スコトヲ勅任ト」ヲ「事務官 專任六
理事官 專任十三人 奏任 爲スコトヲ得」ニ、「調査官 專任二
人 奏任 爲スコトヲ得」ヲ「理事官 專任十

五人 奏任 爲スコトヲ得」ニ、「技師 專任五十一人」ヲ「技師

專任五十九人」ニ、「屬 專任二百八十六人」ヲ「屬 專任三百十一
人」ニ、「技手 專任百七十五人」ヲ「技手 專任二百三十人」ニ改

ム
第十一條ノ二 前條ノ職員ノ外企畫部ニ屬セシムル爲朝鮮總督ノ奏請

ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ事務官ヲ命ズルコトヲ得

第十三條中「外事部長」ヲ「企畫部長」ニ改ム

第十六條ノ三ヲ第十六條ノ四トシ第十六條ノ二ヲ第十六條ノ三トス

第十六條ノ二 調査官ハ上官ノ命ヲ承ケ調査ヲ掌ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府企畫部臨時設置制ハ之ヲ廢止ス



參照

朝鮮總督府官制

明治四三九三〇
勅令第ニ五四號

第一條 朝鮮總督府ニ朝鮮總督ヲ置ク

總督ハ朝鮮ヲ管轄ス

第二條 總督ハ親任トス

第三條 總督ハ諸般ノ政務ヲ統理シ内閣總理大臣ヲ經テ上奏ヲ爲シ
及裁可ヲ受ク

第三條ノ二 總督ハ安寧秩序ノ保持ノ爲必要ト認ムルトキハ朝鮮ニ
於ケル陸海軍ノ司令官ニ兵力ヲ派用ヲ請求スルコトヲ得

第四條 總督ハ其ノ職權又ハ特別ノ委任ニ依リ朝鮮總督府令ヲ發シ
之ニ一年以下ノ懲役若ハ禁錮 拘留 二百圓以下ノ罰金又ハ科料
ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

第五條 總督ハ所轄官廳ノ命令又ハ處分ニシテ制規ニ違ヒ公益ヲ害
シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ其ノ命令又ハ處分ヲ取
消シ又ハ停止スルコトヲ得

第六條 總督ハ所部ノ官吏ヲ統督シ奏任文官ノ進退ハ内閣總理大臣
ヲ經テ之ヲ上奏シ判任文官以下ノ進退ハ之ヲ專行ス

第七條 總督ハ内閣總理大臣ヲ經テ所部文官ノ叙位叙勳ヲ上奏ス

第八條 總督府ニ政務總監ヲ置ク

政務總監ハ親任トス

政務總監ハ總督ヲ輔佐シ府務ヲ統理シ各部局ノ事務ヲ監督ス

第九條 總督府ニ總督官房並ニ左ノ七八局及一部ヲ置ク

司政局

內務局

財務局

殖産局

農林局



法務局
學務局
警務局
厚生局
企畫部
外事部

第十條 總督官房、各局及外事部、企畫部、分掌ハ總督之ヲ定ム
第十一條 總督府ニ左ノ職員ヲ置ク

局長 七八人 勅任
企畫部長 一人 勅任
外事部長 一人 勅任
秘書官 專任三人 奏任
事務官 專任五十一人 奏任
為スコトヲ得

調査官 專任二人 奏任
理事官 專任十三人 奏任
事務官 專任一人 奏任
統計官 專任二人 奏任
山林事務官 專任一人 奏任
教學官 專任二人 奏任
視學官 專任四人 奏任
編修官 專任六人 奏任
銀行検査官 專任一人 奏任
技師 專任五十一人 奏任
内三人ヲ勅任ト
為スコトヲ得
體育官 專任一人 奏任
通譯官 專任五人 奏任
屬 專任二百八十六人 三百十人 判任



祭務官補 專任一人 判任
 統計官補 專任九人 判任
 編修書記 專任七人 判任
 技手 專任百七十五二百二十人 判任
 通譯生 專任三人 判任
 第十一條ノ二 前條ノ職員ノ外企画部ニ屬セシムル爲朝鮮總督ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ事務官ヲ命ズルコトヲ得
 第十二條 局長ハ各局ノ長ト爲リ總督及政務總監ノ命ヲ承ケ局長ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督ス
 第十三條 外事部長企画部長ハ總督及政務總監ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督ス
 第十四條 削除
 第十五條 祕書官ハ總督ノ命ヲ承ケ機密ニ關スル事務ヲ掌ル
 第十六條 事務官及理事官ハ上官ノ命ヲ承ケ府務ヲ掌ル
 第十六條ノ二 調査官ハ上官ノ命ヲ承ケ調査ヲ掌ル
 第十六條ノ三 祭務官ハ上官ノ命ヲ承ケ神社ノ祭祀ニ關スルコトヲ掌ル
 第十六條ノ三四 統計官ハ上官ノ命ヲ承ケ統計ヲ掌ル
 第十七條 山林事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ林野ニ關スル事務ヲ掌ル
 第十七條ノ二 教學官ハ上官ノ命ヲ承ケ教學ノ刷新振興ニ關スル調査及指導監督ヲ掌ル
 第十七條ノ三 視學官ハ上官ノ命ヲ承ケ學事ニ關スル視察及事務ヲ掌ル
 第十七條ノ四 編修官ハ上官ノ命ヲ承ケ教科用圖書ノ編修及檢定ニ關スル事務ヲ掌ル
 第十七條ノ五 銀行檢査官ハ上官ノ命ヲ承ケ金融機關ノ檢査監督ヲ掌ル



掌ル

第十八條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十八條ノニ 體育官ハ上官ノ命ヲ承ケ體育運動及學校衛生ニ關スル事務ヲ掌ル

第十九條 通譯官ハ上官ノ命ヲ承ケ通譯ヲ掌ル

第二十條 屬、祭務官補、統計官輔、繕修書記、技手又ハ通譯生ハ

上官ノ指揮ヲ承ケ庶務、神社ノ祭祀ニ關スルコト、統計、教科用圖書ノ繕修及檢定ニ關スル事務、技術又ハ通譯ニ從事ス

第二十一條 殖産局ニ地質調査所ヲ置キ地質ノ調査ニ關スル事務ヲ掌ラシム

第二十二條 地質調査所長ハ朝鮮總督府技師ヲ以テ之ニ充ツ

第二十三條 殖産局ニ度量衡所ヲ置キ度量衡器及計量器ノ製造、販賣、檢定及取締共ノ地度量衡及計量ニ關スル事務ヲ掌ラシム

第二十四條 度量衡所長ハ朝鮮總督府事務官ヲ以テ之ニ充ツ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府企畫部臨時設置制ハ之ヲ廢止ス

朝鮮總督府企畫部臨時設置制

昭和十四年四月二十九日
勅令第七九三號

第一條 國家總動員計畫ノ設定及遂行ニ關スル綜合事務並ニ時局ニ緊

要ナル物資ノ配給ノ調整ニ關スル事務ヲ掌ラシムル爲臨時ニ朝鮮總

督府企畫部ヲ置ク

第二條 臨時ニ朝鮮總督府ニ左ノ職員ヲ置キ企畫部ニ屬セシム

企畫部長 一人 勅任

事務官 專任十四人

理事官 專任一人

技師 專任十一人

屬 專任四十二人

技手 專任二十三人

前項ノ職員ノ外朝鮮總督ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣
ニ於テ事務官ヲ命ズルコトヲ得

第三條 企畫部長ハ總督及政務總監ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理シ部下ノ官
吏ヲ指揮監督ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

朝鮮總督府調査官ハ其ノ職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ
高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



勅令第 號

大正二年勅令第二百六十二號中左ノ通改正ス

第二條中「厚生省營務官」ノ下ニ「朝鮮總督府調査官」ヲ加フ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

参照

大正二年勅令第百六十二號（抄）

第二條 學校長、教官、技術官其、他特別、學術技藝ヲ要スル文官、
文官任用令第三條ノ二、規定ニ依リ任用セララルル科任文官、企畫
院調査官、情報司情報官、興亞院調査官、外務省調査官、科任外
文官及科任領事官、大正十四年勅令第百二號ニ依リ任用セララル
外交官及領事官、昭和十四年勅令第百八十三號ニ依リ任用セラ
ルル領事官、内務省調査官、神祇院、副總裁、政務局長及調査官
、委任ノ商工省工務官、軍事保護院、副總裁、局長及事務官、厚
生省協和官、厚生省事務官、朝鮮總督府調査官、警視廳事務官、
北海道廳事務官及地方事務官ニハ高等官官等俸給令第四條ノ規定ヲ
適用セズ

高等官官等俸給令（抄）

第四條 初メテ高等文官ニ任セラルル者ノ官等ハ大等以下トス
高等文官ニシテ退官シタル者再ヒ高等文官ニ任セラルル場合ニ於
テハ其ノ官等ハ前官ノ官等以下トス但シ前官官等在職年數ニ年ヲ
超エタル者ハ前官ノ官等ニ一等ヲ進ムルコトヲ得
前官ノ官等ニ等以下ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス並シテ大等官
ニ至ルコトヲ得

朝鮮總督府官制中改正說明書

朝鮮總督府官制中改正說明書

朝鮮總督府官制中改正說明書

國防國家體制下ニ於テ朝鮮ニ期待スル所ハ其ノ人的資源ノ確保及不可
缺物資ノ生産ニ在リ又國內二千四百萬民生ニ對シテハ長期戰ニ對應ス
ルノ施策ヲ講ズルニ於テ施政上遺漏無キヲ期セザルベカラズ右ノ要請
ニ即應シ緊要ノ諸對策遂行ノ圓滑、敏速ヲ期スル爲大要左ノ如ク朝鮮
總督府機構ニ改正ヲ加ヘントス

一 戰時下最モ緊急對處ヲ要スル勞務動員其ノ他勞務對策事務、衣食
住等ノ生活對策事務其ノ他人的資源ニ關スル應急的及恒久的對策事
務所掌機構ノ充實ヲ圖ル爲從來內務局及警務局ニ分屬シ居リタル此
等ノ事務ヲ統合シ新ニ厚生局ヲ設置シテ之ヲ掌ラシム

二 内治ト在外朝鮮人行政トノ間ニ一貫性ヲ保持セシムル如ク機構ヲ

整へ且努メテ部局ノ統合ヲ圖ル爲旨ノ下ニ厚生局所掌事務分離後ノ
內務局ノ所掌事務竝ニ總督官房國民總力課及外事部ノ所掌事務ヲ統
合シ新ニ司政局ヲ設置シテ之ヲ掌ラシム

三 右ニ伴ヒ従前ノ內務局及外事部ハ之ヲ廢止ス

四 朝鮮ニ於ケル生産力ノ擴充ヲ圖ル爲其ノ重點タル鑛産ニ關スル行
政事務ノ充實ヲ圖リ殖産局ニ一課ヲ増設シ且工鑛業ト密接ノ關係ニ
在ル電氣及瓦斯ニ關スル事務ヲ逓信局ヨリ移管統合ス

五 國家總動員體制ノ進展ニ即應シ企業部ヲ經常機構ニ改メ且國土計
畫及物價調整ニ關スル事務ヲ其ノ所掌ニ加フ

因ニ本機構改正ニ伴フ増減員左ノ如シ

註 △印ハ減員ヲ示ス

改正官制定員	増 減 及 組 替										現在官制定員	區 分	
	合 計	小 計 (組替)	企 畫 部 組 替	電 氣 及 新 事 務 移 替	小 計 (純 増)	國 土 計 画 事 務	殖 産 行 政 充 實	厚 生 局 設 置	司 政 局 設 置	外 事 部 廢 止			内 務 局 廢 止
八	一				一			一			△一	七	長 局
一	〇	一		△一						△一		一	長 部
(内三効) 六〇	九	五	四	一	四		(内新二)	一	(効一)			(内五効) 五一	官 務 事
二	二				二	二							官 査 調
一五	二	二	一									一三	官 事 理
(内三効) 五九	八	七	三	六	一			一				(内三効) 五一	師 技
三一	二五	一六	六	一〇	九	三	一	五				二八六	屬
二二〇	四五	三九	二	三七	六	二		四				一七五	寺 技
六七六	九二	七〇	一五	五五	二二	七	三	一	二	△一	△一	五八四	計



第一 厚生局

一 設置ノ理由

(4) 朝鮮ニ於ケル勞務動員ハ時局ノ緊迫ニ伴ヒ一層強化擴大セラ
ルル情勢ニ在リ即チ録内要員充實ノ必要アル外本年度ニ於テハ
内地樺太南洋ニ對スル供出者十萬人ニ達スル見込ニシテ朝鮮人勞
働者ノ内地渡航ニ關聯スル措置等ノ勞務對策事務ハ急速ニ重要
複雜性ヲ加ヘツツアリ國家總動員法ニ基ク勞務調整關係ノ諸措
置モ内鮮陸々歩調ヲ一ニシテ行ハレツツアルガ元來朝鮮ニ於テ
ハ勞務動員ノ前提トモ得スベキ勞務施設ニ遺憾ノ點尠カラザル
ヲ以テ此ノ方面ノ對策モ急速ニ之ヲ講ズルノ要アリ

(5) 又朝鮮ニ於ケル人的資源ハ其ノ質ニ於テ劣弱ナルモノアリ然
5

モ此ノ方面ノ施設ニ付テハ從來殆シド見ルベキモノナキ状態ニ
在リテ最近國民體力發揚ノ要請ノ下ニ在リテハ保健衛生、體力
増進ノ行政ノ充實ハ最モ考慮ヲ要スル所ニシテ之ガ爲ニハ結核、
花柳病、精神病、急性傳染病豫防ノ諸對策乃至國民體力管理制
度ノ實施等ニ付急速ニ研究ヲ要スルモノアリ

(6) 更ニ今期長期戰下及戰後ノ朝鮮ニ於ケル施政ノ要諦トシテハ
社會生活部面ノ施策ニ重點ヲ置クノ緊要ナルモノアリ衣食住間
題ノ對策ハ現下緊急ニ之ガ實施ヲ要シ又前記勞務施設對策ノ實
行ニ伴ヒ各種社會保險制度中朝鮮ノ實情ニ即シテ之ヲ實施スル
ノ要アルモノアリ其ノ他各種福利又ハ保護救濟施設ニ付適宜施
策ノ要アルモノ多シ

(二) 要スルニ敘上ニ詳述ハ何レモ人的資源ノ質及量ニ關スル對策ニシテ新附ノ民ヲ對象トスル外地統治ニ於テハ必然最モ困難ナル問題ニ當面スベク深刻微妙ノ根本的問題ニモ觸レ又在僻内地人ノ定着乃至保健ノ對策等政策的ニモ頗ル重要ナル問題ヲモ包藏ス加之朝鮮ニ於ケル厚生施設ハ前述ノ如ク何レモ今後ノ施策ニ俟ツモノニシテ其ノ實施ノ緩急及施設ノ型態ニ付テハ獨斷的考察ヲ要スル所ナリ然ルニ本事務ハ從來内務警務兩局ニ分屬シ其ノ處理ノ體統統一ヲ期シ難キ實情ニ在ルヲ以テ此等兩局ノ事務ヲ統合シテ新ニ厚生局ヲ設置シ專任ノ局長ヲ配シテ敘上人的資源ニ關スル重要事業ノ處理ニ遺憾無キヲ期セントス

二 組織

從來内務局ニ屬スル社會課及警務課並ニ警務局ニ屬スル衛生課ヲ併セ別ニ保健課ヲ新設シ此等ノ四課ヲ以テ組織ス其ノ事務分掌及配置人員左ノ如シ



註○印ハ臨時職員ヲ示ス
括弧内ハ増員ニシテ内書トス

課名	事務分掌	保健課	衛生課	社會課	勞務課	計
	體力、向上、疾病、予防、環境衛生其他、保健ニ関スル事項(従前衛生課所掌)		醫事及藥事ニ関スル事項(従前衛生課所掌)	住宅、軍事保護、震災救助其他社會事業ニ関スル事項(従前通)	勞務、給與、調整其他勞務ニ関スル事項(従前通)	
	二一	一	一	一	二	二二
				一	一	二
	三三	三			一	一三六
	四七	一三六	一七五	一七五	二四六	二四六
	三六	二九	二九	二	三	四四
	五七	二〇	二〇	一五	二九	一八一
	計					二二

第二 司政局ノ設置並ニ内務局及外務部ノ廢止

一 改組ノ要請及理由

厚生局設置後ニ於ケル内務局所掌事務ノ主流ヲ爲スモノハ地方課ニ於ケル地方廳ニ關スル事務及地方團體ノ行財政ノ監督ニ關スル事務ニシテ疆内ノ朝鮮人ニ直接接觸スル各種地方行政運営ノ調整ニ在リ然ルニ他面外務部ニ於テハ疆外ノ朝鮮人ニ對スル各種ノ施設及保護指導事務ヲ綜合實施シ居レルガ要スルニ兩者ハ疆内疆外ノ別アルモ朝鮮人ニ直接接觸スル一般行政ノ綜合タル點ニ於テ相同シ依テ内外朝鮮人ニ對スル施策ノ一貫性、行政運営ノ統一性ヲ一層發揮シ得シムル爲、又他面努メテ部局ノ統合ヲ圖ルノ趣旨ノ下ニ茲ニ内務局及外務部ヲ合體シ司政局ヲ設置セントス尙内地

6

ニ於ケル翼賛運動ト呼應シ朝鮮ニ於テモ國民總力發揮ノ新態勢ヲ樹立シ半島施政ノ推進ニ資セシメンガ爲ニ國民總力運動ヲ提唱シ現ニ總督官房國民總力課ニ於テ之ニ關スル事務ヲ掌レルガ此ノ運動ノ組織ハ地方行政組織ト表裏一體ノ關係ヲ成シ之ニ關スル民衆ノ指導ハ地方行政組織ヲ利用シテ實效ヲ收ムベキモノナルヲ以テ地方行政事務ヲ掌ル部局ニ於テ併セテ處理スルヲ適當ト認メ國民總力課ヲ新設ノ司政局ニ統合セントス

尙司政局ノ所掌事務ハ廣汎多岐ニ互リ疆内疆外ニ及ビ且時局下緊要繁忙ノ部面タルニ鑑ミ特ニ局附勅任事務官ヲ設置シテ局長ヲ輔佐セシメントス

二 司政局ノ組織

從來内務局ニ屬スル地方課及土木課、官房ニ屬スル國民總力課並
ニ外務部ニ屬スル外務課及拓務課ヲ併セ左ノ五課ヲ以テ組織ス其
ノ事務分掌及配置人員左ノ如シ

註 ○印ハ臨時職員ヲ示ス
格弧内ハ増員ニシテ内書トス

課名	地方課	國民總力課	外務課	拓務課	在外派遣員	土木課	計
華務分掌	神社、地方廳、地方公共團體ニ關スル事項(從前通)	國民總力運動ニ關スル事項(從前通)	在外朝鮮人ノ保護撫育、涉外事項ニ關スル事項(從前通)	滿支開拓民ニ關スル事項(從前通)	在滿支朝鮮人ノ保護撫育ニ關スル事項(從前通)	道路、河川、港湾、都市計畫(其ノ他、土木行政ニ關スル事項(從前通))	
初任事務官	二	一	二	三	六		二一
事務官	二	一	一	二			八四
事務官	一						二一
事務官						六	八
技師			一		二	四	五四
通譯官			二	三	八	六	三三
事務官	一			二	二	一五	二二
技師						六	六
通譯官			一				一
計	八	四	七	六	一七	密	二二

第三 殖産局ノ改組

一 改組ノ要點及理由

(1) 專管下重要不可缺資源ノ補給上朝鮮ノ分擔スル最重要部面ノ一ハ殖産部面ニシテ其ノ重要ナルモノハ金、鐵礦、石炭ノ外タングステン礦、水鉛鐵、磷鐵、黑鉛、雲母、石棉、明礬石、燧石、マグネサイト、鉛、亜鉛鐵、コバルトニシテ又此等ヲ原料トスル製鐵事業、人造石油工業等ナリ然ルニ此等重要專務ハ金ニ關シテハ産金課、燃料ニ關シテハ燃料課ニ於テ所管スル外銀ゲテ鑛山課ニ於テ處理シツアルノ狀況ナルガ現状ヲ以テシテハ到底一課長ノ負擔ニ堪ヘザルノミナラズ鑛業ニ關スル出願、調査、處分及登録ニ關スル專務ハ助成專務ト之ヲ切離シ一貫的

ニ且公平ニ處理セシムルノ機構トスルヲ適當トシ又一面前記各種特殊鑛物ノ開發増産ノ要請ニ應ズル爲之ニ關スル調査及助成專務ヲ專管スル特殊鑛物課ヲ特立スルノ要アリ

(2) 又電氣ハ朝鮮ニ於ケル生産力擴充ノ基礎的條件ノ一ナルガ現在之ニ關スル專務ヲ所掌スル逓信局ハ通信ニ關スル現業的專務ヲ其ノ根幹ト爲ス獨立官廳ニシテ專務ノ連絡運営上電氣ヲ所掌スル官廳トシテ必ズシモ適當ナラザルノミナラズ電氣及瓦斯ハ工鑛業ト密接ナル關係アルヲ以テ此等ニ關スル專務ヲ本府殖産局ニ統合スルコトトシ電氣第一課及第二課ヲ逓信局ヨリ移管シ又瓦斯ニ關スル專務ハ電氣第二課ヨリ燃料課ニ移管ス

(3) 右ノ外物價調整ニ關スル專務ヲ掌ル物價調整課ハ其ノ專務ノ

性質ニ鑑ミ之ヲ企畫部ニ移管ス

(二) 尙殖産局所掌事務ハ時局下重要且急施ヲ要スル性質ノモノナルノミナラズ電氣ニ關スル事務移管後ニ於テハ其ノ事務量一局長ノ所管能力ヲ超ユルモノアルヲ以テ局附勅任事務官ヲ配置シテ局長ヲ輔佐セシメントス

二 組織

殖産局ハ従前六課タリシ處前記ノ通鑛山課ヲ廢シテ鑛政課及特殊鑛物課ヲ設置シ遞信局ヨリ電氣第一課及電氣第二課ヲ移管シ又物價調整課ヲ企畫部ニ移管シ八課ノ組織ニ改ム其ノ事務分掌及配置人員左ノ如シ

註 ○印ハ臨時職員トス
括弧内ハ増員ニシテ内書トス

課名	事務	分掌	初任
商工課	商工業ニ関スル事項(従前通)	〇三三	〇三三
鑛政課	鑛業行政及製鐵ニ関スル事項	〇一	〇一
特殊鑛物課	非鐵金屬鑛物及非金屬鑛物ニ関スル事項	〇一	〇一
産金課	金銀鑛ニ関スル事項(従前通)	〇一	〇一
燃料課	石油石炭等ノ燃料ニ関スル事項(従前通)	〇四	〇四
電気第一課	電力事業ノ監督等ニ関スル事項(従前通)	〇一	〇一
電気第二課	電力事業ノ業務監督及産金送電ニ関スル事項	〇一	〇一
水産課	水産ニ関スル事項(従前通)	〇一	〇一
燃料選鑛研究所	燃料選鑛製煉鑛物試験研究ニ関スル事項(従前通)	〇四	〇四
商工奨励館	商工改良及販路拡張ニ関スル事項(従前通)	〇六	〇六
地質調査所	地質調査ニ関スル事項(従前通)	〇一	〇一
度量衡所	度量衡及計量ニ関スル事項(従前通)	〇七	〇七
計		〇二	〇二
		〇一	〇一
		〇二	〇二
		〇三	〇三
		〇四	〇四
		〇五	〇五
		〇六	〇六
		〇七	〇七
		〇八	〇八
		〇九	〇九
		一〇	一〇
		一一	一一
		一二	一二
		一三	一三
		一四	一四
		一五	一五
		一六	一六
		一七	一七
		一八	一八
		一九	一九
		二〇	二〇
		二一	二一
		二二	二二
		二三	二三
		二四	二四
		二五	二五
		二六	二六
		二七	二七
		二八	二八
		二九	二九
		三〇	三〇
		三一	三一
		三二	三二
		三三	三三
		三四	三四
		三五	三五
		三六	三六
		三七	三七
		三八	三八
		三九	三九
		四〇	四〇
		四一	四一
		四二	四二
		四三	四三
		四四	四四
		四五	四五
		四六	四六
		四七	四七
		四八	四八
		四九	四九
		五〇	五〇
		五一	五一
		五二	五二
		五三	五三
		五四	五四
		五五	五五
		五六	五六
		五七	五七
		五八	五八
		五九	五九
		六〇	六〇
		六一	六一
		六二	六二
		六三	六三
		六四	六四
		六五	六五
		六六	六六
		六七	六七
		六八	六八
		六九	六九
		七〇	七〇
		七一	七一
		七二	七二
		七三	七三
		七四	七四
		七五	七五
		七六	七六
		七七	七七
		七八	七八
		七九	七九
		八〇	八〇
		八一	八一
		八二	八二
		八三	八三
		八四	八四
		八五	八五
		八六	八六
		八七	八七
		八八	八八
		八九	八九
		九〇	九〇
		九一	九一
		九二	九二
		九三	九三
		九四	九四
		九五	九五
		九六	九六
		九七	九七
		九八	九八
		九九	九九
		一〇〇	一〇〇



第四 企畫部ノ改組

一 改組ノ要點及理由

(イ) 朝鮮總督府企畫部ハ從來臨時ノ部局トシテ設置セラレ國家總動員計畫ノ設定及遂行ニ關スル綜合事務竝ニ時局ニ緊要ナル物資ノ配給ニ關スル事務ヲ掌リ居レルガ現下内外ノ情勢ニ鑑ミ國家總動員體制ハ恒久化セラレツツアルヲ以テ此ノ際同部ヲ經常機構ト爲サントス

(ロ) 中央ニ於テ最近國土計畫設定事務ノ着々進捗ヲ見ツツアルニ呼應シ朝鮮ニ於テモ之ニ關スル調査其ノ他ノ事務ヲ行ハシメンガ爲新ニ調査官其ノ他ヲ増置シ企畫部ニ於テ國土計畫ニ關スル事務ヲモ掌ラシメントス

12

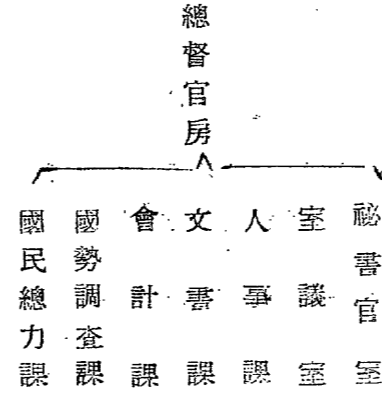
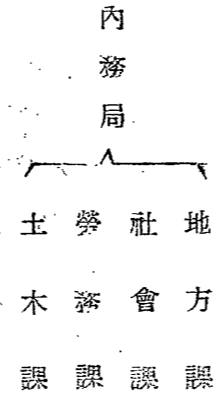
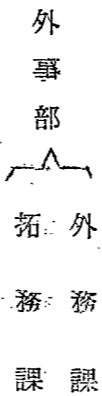
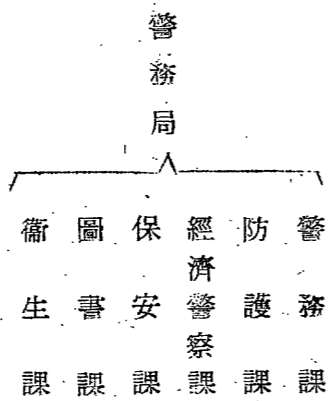
(ハ) 物價調整ニ關スル事務ハ從來殖産局物價調整課ニ於テ之ヲ掌リ來リタルモ物價政策ノ綜合及價格等ノ統制ニ關スル事務ハ國家總動員計畫ノ設定及遂行ニ關スル綜合事務竝ニ重要物資ノ配給調整事務ト緊密ナル關聯アルヲ以テ之ヲ企畫部ニ移管統合セントス

二 組織

従前ノ第一課、第二課、第三課、第四課ヲ夫々計畫課、物資調整第一課、物資調整第二課、物資調整第三課ト改稱シ別ニ殖産局ヨリ移管スル物價調整課ヲ併セ此等五課ヲ以テ組織ス各課ノ事務分掌及配置人員左ノ如シ

課名	事務	分掌	計畫課	物資調整 第一課	物資調整 第二課	物資調整 第三課	計
國家總動員計畫及生産力擴充計畫 ノ決定遂行ノ綜合等ニ関スル事項 (從前、第ニ課通) 國土計畫ニ関スル事項	五	五	五	五	二	六	二六五
物資動員計畫及配給調 整ニ関スル事項				三			三
織維、皮革、ゴム、 藥品、化學成品、 輸入雜品等				二			四一
石炭、石油				一			八二
物價政策ノ綜合及價格等ノ調 整ニ関スル事項(從前通)				六			二一四
(從前、第ニ課、第 三課、第ニ課通)				六			二二四
				二			三六
				一			一六
				九			七
				三			七

註 ○印ハ臨時職員ヲ示ス
格内ハ増員ニシテ内書トス



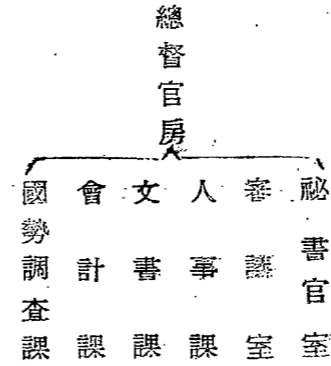
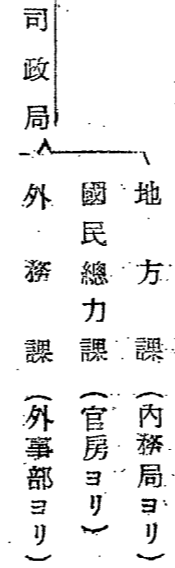
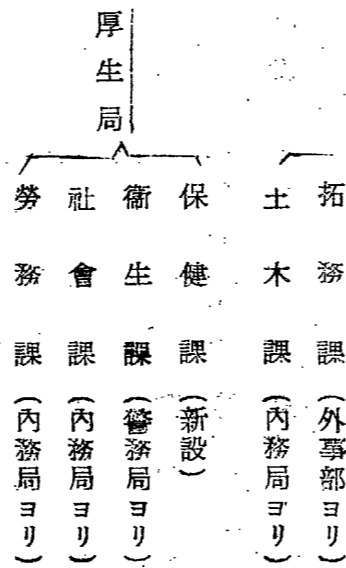
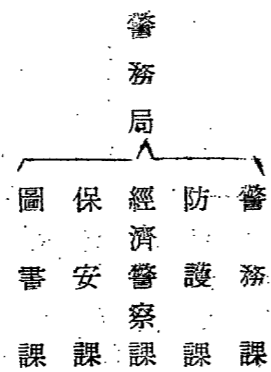
現

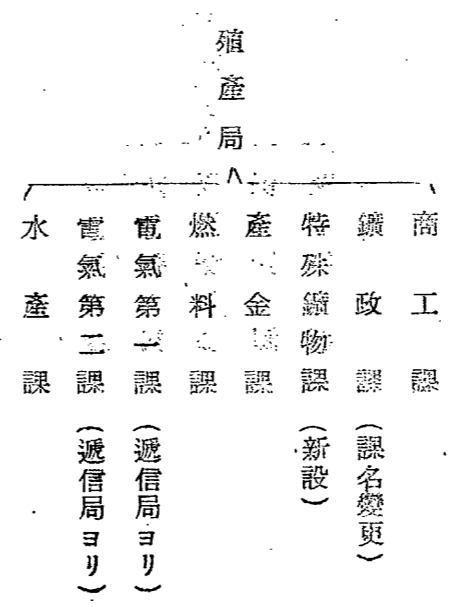
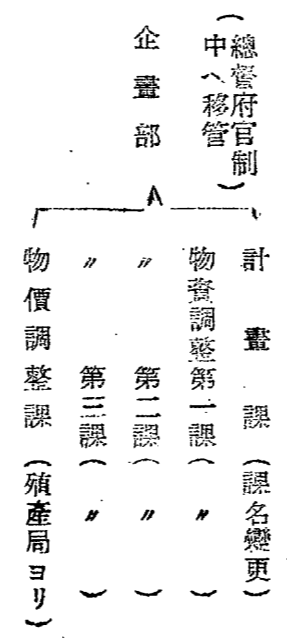
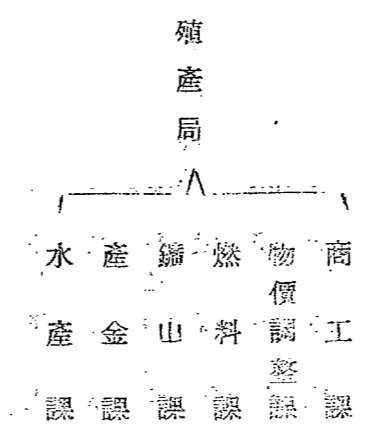
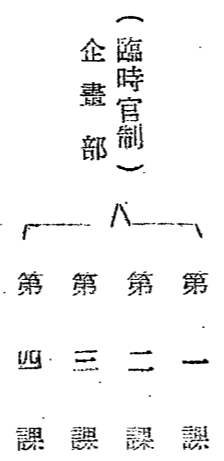
朝鮮總督府機構改正對照表

在

改

正





(考)

朝鮮總督府官制中改正ニ伴ヒ改正ヲ要スル勅令案

目次

一	高等官官等俸給令中改正ノ件	一頁
二	朝鮮總督府遞信官署官制中改正ノ件	二頁
三	朝鮮總督府部内臨時職員設置制中改正ノ件	三頁



勅令第 號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第八條中「朝鮮總督府外事部長」ヲ削ル

第十四條中「朝鮮總督府事務官」ノ次ニ「朝鮮總督府調査官」ヲ加フ

別表第一表朝鮮總督府ノ部中外事部長ノ項ヲ削ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

朝鮮總督府逓信官警官制中左ノ逓改正ス

第一條第一項及第三條中「發電水力」ヲ削リ「海員、電氣事業及

瓦斯事業」ヲ「及海員」ニ改ム

第九條第一項中「逓信事務官 逓信副事務官」ヲ「逓信事務官 逓信副事務官」ニ改ム

專任十人 逓信技師 專任三十四人 逓信警記 專任千六百一人 逓信技手 專任五百三十二人

專任三十三人 逓信警記 專任千六百一人 逓信技手 專任五百三十二人

專任二十八人 逓信技師 專任三十四人 逓信警記 專任千六百一人 逓信技手 專任五百三十二人

專任千五百九十一人 逓信警記 專任千六百一人 逓信技手 專任五百三十二人

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



勅令第 號

朝鮮總督府部内臨時職員設置制中左ノ通改正ス

第一條第六號中 「屬 專任二十一人」ヲ 「屬 專任二十一人」ニ

改ム

同條第三十七號中 「技師 專任一人」ヲ 「技師 專任二人」ニ改ム

同條第四十一號中 「技師 專任一人」ヲ 「技師 專任二人」ニ改ム

同條ニ左ノ四號ヲ加フ

六十八 物資需給調整及生産力擴充計畫ノ實施ニ關スル事務ニ從事

スル者

事務官

專任十人

3

技師

專任十二人

屬

專任三十七人

技手

專任二十四人

六十九 電力統制資料調査ニ關スル事務ニ從事スル者

技師

專任二人

屬

專任一人

技手

專任六人

七十 産金送電施設ニ關スル事務ニ從事スル者

事務官

專任一人

技師

專任三人

屬

專任十九人



技手

専任五十一人

七十一 電力調整ニ關スル事務ニ従事スル者

技師

専任一人

屬

専任一人

技手

専任十一人

第二條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 削除

同條第七號ヲ左ノ如ク改ム

七 削除

同條第十四號ヲ左ノ如ク改ム

十四 削除

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時職員増減内訳

増減事由	事務官	技師	屬	技手	備考
建築物資需給調整		二	二	三	第一條六八號 (物資需給調整及生産力擴充計)
重要礦物増産		一	三	六	第一條三七號 (重要礦物ノ増産)
企畫部組替	一〇	一〇	三六	二一	第一條六八號 (物資需給調整及生産力擴充計)
遞信官署組替	一	六	二一	七〇	第一條六九號 (△第二條三號) (電力統制資料調査) 第一條七〇號 (△第二條七號) (産金送電施設) 第一條七一號 (△第二條一四號) (電力調整)
官廳事務再編成			△二	△六	第一條六號 (礦業出願處分) 屬、技手三 第一條四一號 (賃金統制及工場就業) 時間制限 技手一 第一條六八號 (物資需給調整及生産力擴充計) 屬一
					第一條七〇號 (産金送電施設) 技手二

註△印ハ減員ヲ示ス

